



土星、木星を見よう！

今年の秋は土星と木星が見ごろをむかえます。

土星は、環^わをもったユーモラスな姿^{すがた}で人気^{わくせい}が高い惑星^{わくせい}です。

秋の星座^{せいざ}のみずがめ座の中にあり、星座の星々よりも土星の方が明るく、1等級の明るさに見えますからみなみのうお座の1等星フォーマルハウトとともに南の空で明るく輝^{かがや}いています。

さらに天体望遠鏡^{ぼうえんきょう}では環もはっきりと見られます。

木星は、東の空に煌々^{こうこう}と輝いて見られ、すぐにみつけることができます。

おひつじ座の中にあり、天体望遠鏡で観察^{かんさつ}すると地球のような固体^{こたい}の地面や液体^{えきたい}の海水面などがなくガスの表面模様^{もよう}を見ることができます。

木星は自転の速度がとても速く、地球よりも早い10時間で自転していますから、しばらく天体望遠鏡^{かんそく}を使って観測していると表面の模様^いの位置がずれていくことが確認^{かくにん}できます。

また、大赤斑^{だいせきはん}と呼ばれる赤い目玉のような模様も見られ、さらに木星の周囲^{しゅうい}に4個^この衛星^{えいせい}（月）が見られ、名称^{めいしょう}をイオ、エウロパ、ガニメデそれにカリストと名付けられます。これらの衛星は、17世紀^{せいき}にガリレオ・ガリレイが、天体望遠鏡を使って木星を観測した時に発見されたものです。



土星（撮影：川端孝幸）



木星（撮影：川端孝幸）